

土砂災害

に備えて

- 家族全員がわかる場所に貼っておきましょう -

突然襲う土砂災害 ~身を守るのは『早めの避難』です~

① 日頃からの確認

土砂災害警戒区域や避難場所等を確認しておきましょう(表面参照)

② 土砂災害の種類と前兆現象

がけ崩れ・土石流・地すべりを総称して「土砂災害」といいます。

がけ崩れ (急傾斜地の崩壊)

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象です。

前兆現象

- がけからの水が濁る。
- がけに亀裂が入る。
- 小石がばらばら落ちてくる。



土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。

前兆現象

- 山鳴りがする。
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
- 急に川の流れが濁り、流木が混ざっている。

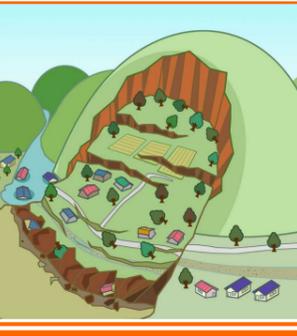


地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象です。

前兆現象

- 地面に亀裂、段差ができる。
- 樹木が倒れる。
- 斜面から水がふき出す。



③ みなさんがとるべき行動

* 避難情報等が発表される前でも、前兆現象等により危険を感じたら急いで避難行動を開始してください

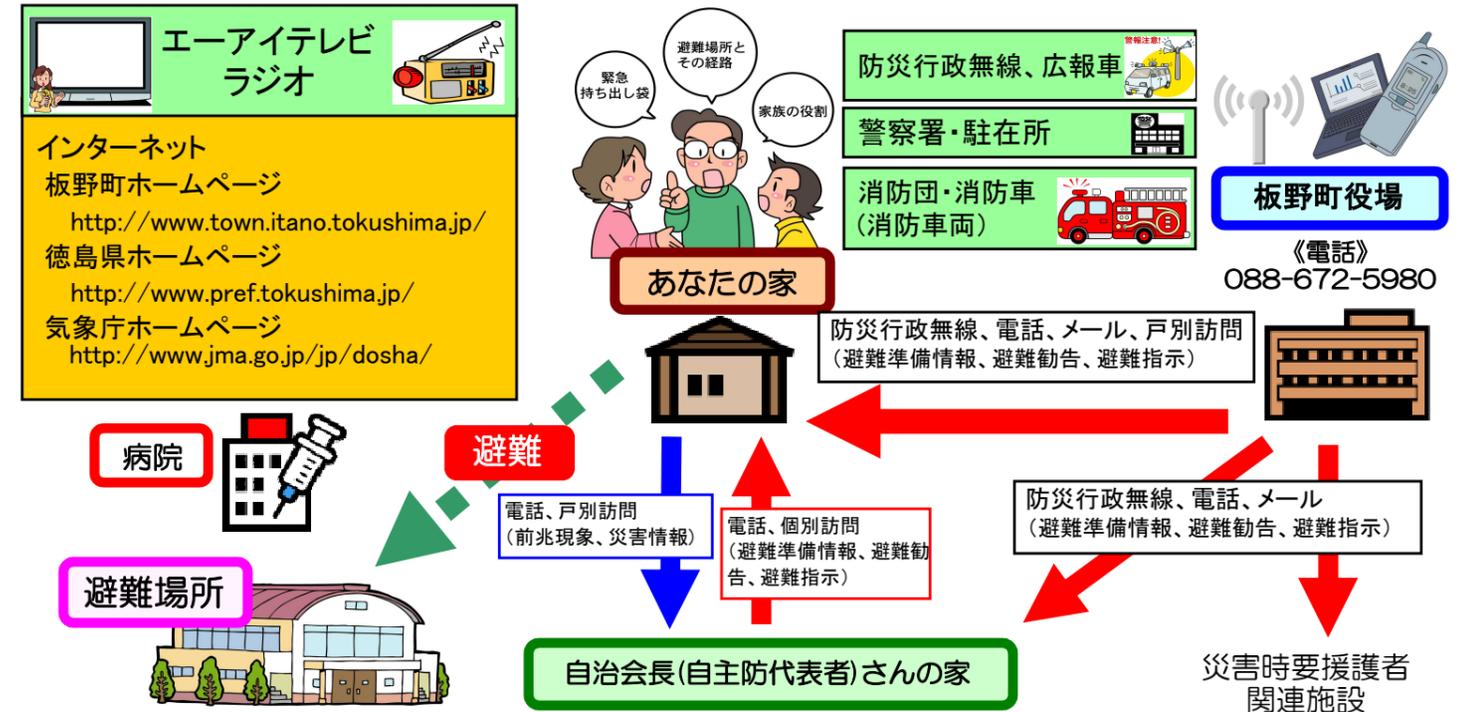
避難準備情報	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者等の避難行動に時間を要する方は、避難行動(避難支援者は支援活動)を開始しましょう。 上記以外の方は、気象情報等に注意を払い、立ち退き避難の必要について考え、非常持ち出し品の用意等、避難準備を開始しましょう。
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> 通常の行動が可能な方は、避難所へ立ち退き避難をしましょう。
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> 立ち退き避難途中の方は、確実な避難行動を直ちに完了しましょう。 まだ立ち退き避難をしていない方は、直ちに避難行動に移るとともに、しそびれた場合は生命を守る最低限の行動をとりましょう。

土砂災害の前兆現象を見つたり、聞いたりしたら、早めに自主避難をし、自治会長、町役場、消防、警察、徳島県東部県土整備局に連絡しましょう。

④ 各種情報の伝達経路

雨が強くなってきたら、積極的に雨量情報や予報、警報などの情報を入手しましょう。

土砂災害警戒区域や土砂災害危険箇所等の情報は、板野町ホームページからも確認できます。



⑤ わが家の避難場所

避難勧告などの連絡があったら直ちに避難しましょう。

地区 避難所:

避難所を開設する際は、防災行政無線やホームページで周知します。台風など風水害(吉野川氾濫時は除く)の際に、まず開設される避難所は以下の5カ所です。

- 川端老人憩の家(東地区)
- 板野町町民センター(東地区)
- 板野東小学校大坂分校(東地区)
- 板野町町民ふれあいプラザ(西地区)
- 板野町南公会堂(南地区)

⑥ 緊急時の連絡先電話帳

1.板野町役場	☎:088-672-5980(代)
2.徳島県東部県土整備局 鳴門庁舎	☎:088-684-4621(代)
3.板野警察署	☎:088-672-0110(代)
4.板野西部消防組合	☎:088-672-0198(代)
5.自治会長 () さん	☎:
6.自主防災組織代表者 () さん	☎:
7.家族の連絡先 ()	☎:
8.	☎:

~ 防災行政無線の放送が電話で聞けます ~
 防災行政無線テレフォンサービス フリーダイヤル(通話料無料)
☎0120-15-7020 (携帯・PHSからも可)